



権兵衛さんの案内で便ノ山地区を散策する姫路市の歩こう会

東紀州地域交流空間創造事業馬越峠・海山部会(田上至部会長)の熊野古道体验モニターツアーが四日に紀北町海山区であり、兵庫県姫路市安富町の歩こう会のメンバー二十人が便ノ山や馬越峠ハイキングを楽しんだ。

大阪市の淀屋橋健康増進センターが生活習慣病の予防を目的に一泊二日で実施した古道体验ツアード、海山物産㈱自然体验事業部が受け入れ、便ノ山地区や熊野古道馬越峠、荷坂峠の散策、白浦で養殖事業に取り組んでいるイワガキの試食などのプログラムをセグメントしたもので、初日午後から午後二時ごろ細まき権兵衛の里に着いた一行は、熊野古道薬草弁当で昼食の後

午後一時ごろ細まき権兵衛の里に着いた一行は、熊野古道薬草弁当で昼食の後、権兵衛さんにふんした田上会長と部会員の森本真理さ

ーに位置付けた。「とても良い」などと答えたほか、「一番印象に残ったものとして「権兵衛さんの仮装」「馬越峠ハイキング」「古道を歩けたこと」などを挙げ、まちなかマップについては「名所旧跡がわかりやすかった」「作成の努力に敬意を表する」、

「手作りでやさしい」「役立つと思う」という反面、「よくわからなかった」「サイズはもう少し大きい方がよいのではないか」という指摘もあった。

このほか「登り口付近に木があると、さらに感激する」「とても爽晴らしいシダの景色なのに、足元に気

を取られて残念だった」「ごみもなく、歩いて気持ちよかったです。旅行会社の案内よりも温かみを感じた」「感想は見事です。ルート上のほかの市町村でも同様のオリジナル観光の創出を望む」「みなさん親切でありがたい」などの意見や感想が聞かれ、モニターツアーハはなかなか好評だった。



安富町は本年三月に姫路市と合併した同市北西部、人口約五千六百人の山間の町だが、初めて当地を訪れた参加者たちは、まず「空氣がとてもおいしい」と感じ、権兵衛さんの説明や道の説明、熊野古道馬越峠のハイキングなどについて

兵衛さんの普提寺である宝泉寺、いろいろのある大正時代に建てられた石工の棟梁宅をめぐり、さらには轟下地区の発掘古道、馬越峠から道の駅海山までおよそ五ヶ、二時間ほどのコースを散策した。